

科目

数 学 I

教 科	数 学	学科・学年	全 科 ・ 1 年	単位数	3
教科書	数学I Standard (東京書籍)				
副教材	STAGE 数学I Standard Buddy 問題・解答編 (東京書籍)				

「数学I」はどんな科目？

数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図ります。また、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを学びます。

学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。

学習の計画及び評価方法等

学 期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い ・ 目 標	評 価 の 観 点		
				知	思	主
1 学 期	4	1 章 数と式	- 公式を用いて、式の展開や因数分解ができる。 - 数を実数まで拡張することの意義を理解できる。 - 不等式の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。	○	○	○
	5	1 節 式の計算		○	○	○
	6	2 節 実数		○	○	○
	7	3 節 1次不等式	- 集合の概念と記号の意味を理解し、適切に使うことができる。 - 論理的に考え、証明ができる。	○	○	○
2 学 期	9	2 章 集合と論証		○	○	○
	10	1 節 集合		○	○	○
	11	2 節 命題と論証	2次関数のグラフをかくことができ、グラフを利用して、2次関数の最大値・最小値を求めることができる。 2次関数のグラフと2次方程式の解との関係を理解し、グラフを利用して、2次不等式を解くことができる。	○	○	○
	12	3 章 2次関数		○	○	○
	1	1 節 2次関数とそのグラフ		○	○	○
	2	2 節 2次方程式と2次不等式	- 鋭角の三角比の意味を理解する。 - 鈍角に拡張した三角比の意義を理解し、活用することができる。 - 身近な課題について主体的に学習し、数学のよさを認識する。	○	○	○
3 学 期	1	4 章 図形と計量		○	○	○
	2	1 節 鋭角の三角比		○	○	○
	3	2 節 三角比の拡張	三角形の辺と角との関係に三角比を応用できる。	○	○	○
	3	課題学習		○	○	○
	3	3 節 三角形への応用		○	○	○
3 学 期	2	5 章 データの分析	2つの変量の相関をとらえることができる。 - データを分析する方法を用いて、身の回りの事象を考察・検討することができる。 - 具体的な事象において仮説検定の考え方を理解する。	○	○	○
	3	1 節 データの分析		○	○	○
	3	2 節 データの分析の応用		○	○	○
	3	3 節 仮説検定の考え方		○	○	○
	3	3 節 仮説検定の考え方		○	○	○

評価の方法

評価は次のものを対象とします。

学習意欲や授業態度、学期毎の考査および課題・ノート・プリント等の提出状況、授業での発表や学習への取り組み等です。

評価は、上記内容を総合的に判断します。